

## 報告事項

### 1 長岡市地域公共交通総合連携計画の送付について

- (1) 送付日 平成 22 年 4 月 7 日
- (2) 送付先 国土交通大臣、総務大臣

### 2 平成 22 年度業務委託の契約について

- (1) 委託番号 交協委第 1 号
- (2) 委託名 長岡市地域公共交通事業計画等検討業務委託
- (3) 受託者 エヌシーイー株式会社  
代表取締役 小島廣保
- (4) 契約金額 1,575,000 円
- (5) 履行期間 平成 22 年 6 月 11 日から平成 23 年 3 月 31 日まで  
(294 日間)
- (6) 業務内容 長岡市地域公共交通総合連携計画に示された事業の中から抽出した個別事業について、実施に向けた詳細な検討を行い事業計画を作成する。また、長岡市地域公共交通協議会の運営支援を行う。

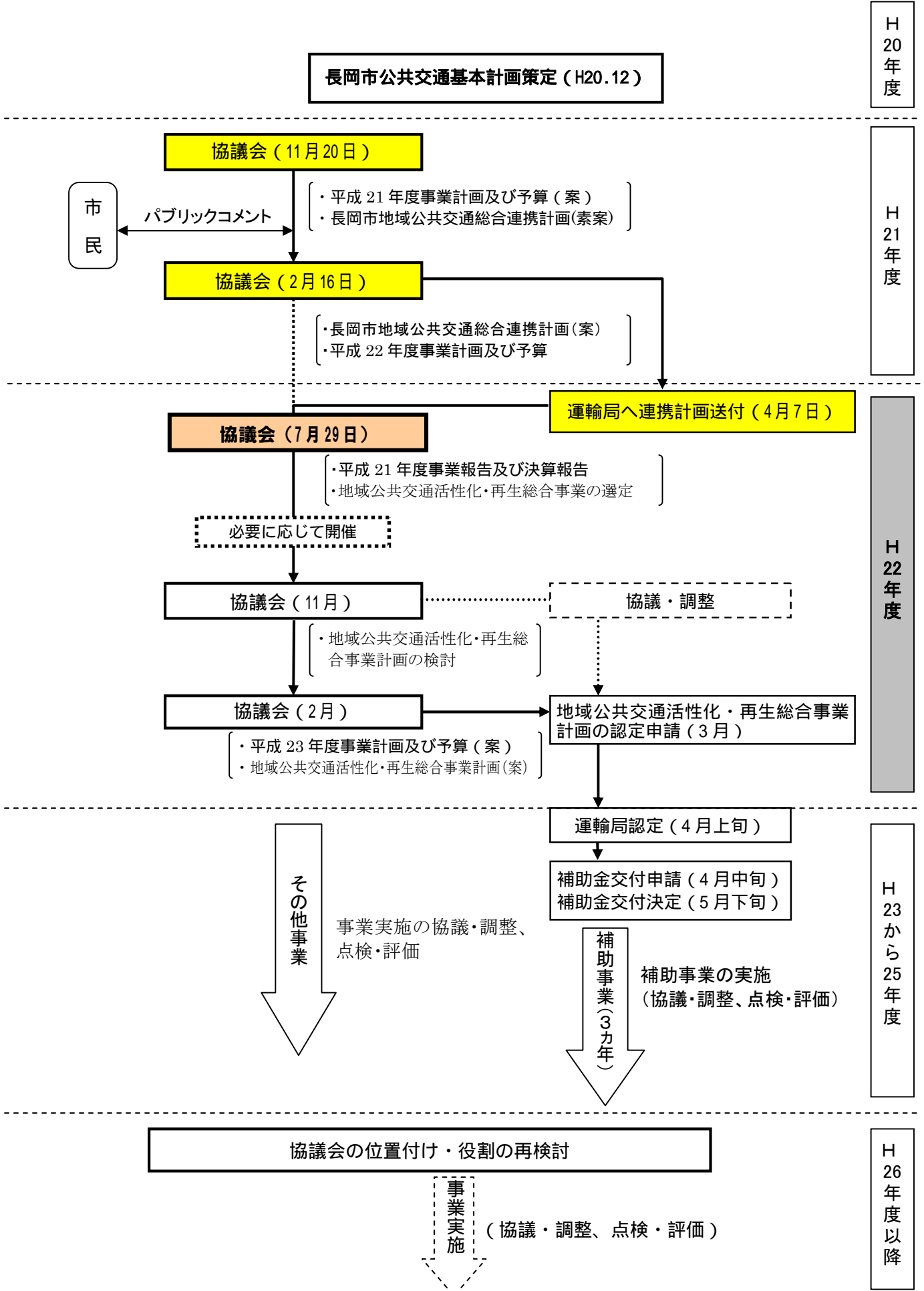
## 平成 21 年度 事業報告

平成 20 年 12 月に策定した「長岡市公共交通基本計画」を基に、「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」(平成 19 年法律第 59 号)に基づく「長岡市地域公共交通総合連携計画」を作成した。

### 活動経過

年月日	内 容
H21.11.20	第 1 回協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会規約、財務規程等</li> <li>・平成 21 年度事業計画及び予算</li> <li>・長岡市地域公共交通総合連携計画(素案)</li> </ul>
H21.12.7 ~ H22.1.5	パブリックコメントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見の提出 1 人、1 団体</li> <li>・意見の件数 34 件</li> </ul>
H22.2.16	第 2 回協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市地域公共交通総合連携計画(案)</li> <li>・平成 22 年度事業計画及び予算</li> </ul>
H22.3.31	計画の公表

# 長岡市地域公共交通協議会のスケジュール



## 平成21年度 歳入歳出決算

## (1) 歳入

(単位:円)

款	項	目	予算額	執行額	差引額	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	1,000,000	1,000,000	0	長岡市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	49	49	利息
合 計			1,000,000	1,000,049	49	

## (2) 歳出

(単位:円)

款	項	目	予算額	執行額	差引額	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	180,000	112,500	67,500	委員報酬 109,200円 お茶代 3,300円
	2 事務費	1 事務費	416,000	415,075	925	2款事業費 1項事業費 1目事業費から 流用 316,000円 協議会長之印等 10,325円 印刷製本代 404,250円 その他消耗品 500円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	384,000	0	384,000	1款運営費 2項事務費 1目事務費へ 流用 316,000円
3 予備費	1 予備費	1 予備費	20,000	0	20,000	
合 計			1,000,000	527,575	472,425	

(3) 精算額 : 472,474 円

(歳入執行額) (歳出執行額) (差引残額)  
 1,000,049円 - 527,575円 = 472,474円 (返納額)

# 会計監査報告

長岡市地域公共交通協議会規約第7条第3項の規程により、平成21年度の会計を監査した結果、歳入・歳出に関する帳簿並びに証拠書類等は、いずれも適正に処理されていたことを報告します。

平成22月5日28日

長岡市地域公共交通協議会

会長 池津勝敏 様

監査員

小林 守 

監査員

大橋 操 

## 各事業の取組み状況と今後の進め方

項目	事業名	取組状況	実施年度 (予定)	導入事業	頁
基幹路線	和島地域への運行見直し(頻度、時間帯)	社会実験の実施に向けて、運行内容を検討中 ・利用状況等のデータ収集 ・関係機関との協議(国庫補助路線) ・運行時間帯、運行形態、運行経路など、地域の意向把握(支所協議)	H23～H25	地域公共交通活性化・再生総合事業	P.64
	寺泊地域への運行見直し(時間帯)				
市街地路線	南循環線の運行見直し(経路、時間帯、頻度)	平成21年度から中央総合病院や県の出先機関等の公共施設を結ぶ経路に見直し運行中。引き続き社会実験として運行内容の見直しを実施	H23～H25	地域公共交通活性化・再生総合事業	P.72
	中央循環線の運行見直し(時間帯)	平成21年度に内周りと外周りの各1便の増便を実施 今後は、利用状況を見ながら、さらに夜間の増便が必要かどうか検討していきたい。	H21～		P.73
	シャトルバスの運行(頻度、時間帯、料金等)	料金をワンコイン(100円)にする社会実験の実施に向け協議中	H22	市単独事業	P.74
土地利用に合った運行経路の見直し	千秋が原地区、堺・古正寺地区への運行経路見直し(柏崎線、越路線、小国線等)	バス事業者により検討中	H23～		P.74
	川崎地区のバス停設置	平成22年度は、バス車両が側道との出入が可能かどうか、現地での走行試験などにより問題や課題の整理を行う。			P.75
空白地域等の公共交通	住民主体のコミュニティバス運行	山古志地域	平成22年度から、復興基金終了後も、地域住民が主体となって運営し継続可能な運行について検討することになっている。	H26～	
		小国地域	NPO法人が運営する自家用有償運送及び乗合タクシーによる生活交通の確保に向けて検討を進めている。	H23～	地域公共交通活性化・再生総合事業
		中之島地域	公共交通空白地域の生活交通確保に向けて、関係町内の代表による検討が進められており、今後は住民へのアンケート調査を実施する予定	調整中	
バス待ち環境の改善	バス停上屋の整備	平成22年度から整備に着手することにしており、今年度は3箇所の整備を予定している。	H22～	社会資本整備総合交付金	P.90
分かりやすい情報提供	バスロケーションシステムの導入拡大(携帯電話)	GPSにより取得したバスの位置情報を発信している現在の通信方式が、平成24年3月末に終了することから、新たな機器整備が必要となっており、現在調整中。	調整中		P.96
	バス位置表示モニターの設置	バスロケーションシステムの整備方針が定まった段階で検討			P.98
	公共交通マップの作成	マップデザインの構成検討	H22～		P.100
乗り継ぎ環境の改善	分かりやすい案内	総合交通情報案内モニターの設置を考えており、バスロケーションシステムの整備と整合を図りながら検討することになっている。	調整中		P.103
マイカーから公共交通への乗り換え利便性向上	パークアンドライドの推進	平成22年度、シビックコア地区にパークアンドライドとして活用できる駐車場を整備することになっている。 押切駅前パークアンドライド駐車場整備について調査中	H21～	社会資本整備総合交付金	P.114
車両のバリアフリー化	低床バスの導入促進	バス事業者の新車入れ替えに併せて導入	随時	市単独事業	P.126
意識啓発活動の推進	モビリティマネジメントの推進	広く市民が人と環境にやさしい自転車や公共交通などへ自発的に転換する契機とするため、市内一斉ノーマイカーデーを実施。今年度は、市内の事業所に車で通う通勤者のほかに個人も参加できるようにし、活動を広げていくことにしている。	H13～	市単独事業	P.126

## 川口地域分科会の設置

### 1 名称

長岡市地域公共交通協議会川口地域分科会

### 2 設置の理由

平成22年3月31日の川口町との合併に伴い、川口町が運行していた町営バスを合併後も長岡市が「川口地域バス」として引き続き運行している。

この川口地域バスは、市が所有する自家用自動車を有償で運行しているものであり、道路運送法上の自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）にあたる。その運行に関する必要な事項を協議するため設置する。

### 3 委員の構成

- ・長岡市川口支所
- ・交通事業者
- ・道路管理者
- ・交通管理者
- ・住民代表
- ・関係団体
- ・関係機関

### 4 事務局

長岡市川口支所 地域振興課